

育てよう

# 鏡野のよい子シリーズ



## 「きらり輝く 香々美の子」

本校の学校教育目標の中にある言葉です。運動、勉強、係の仕事、委員会活動：子どもたちはそれぞれに「きらり」と輝くところを持っていきます。その中でも、私が感じた香々美小の「きらり」を紹介します。

給食の時間、低学年の子が牛乳をこぼしてしまいました。私が拭きに行こうと思ったとき、近くにいた上級生がさっと立ち上がり、ティッシュやぞうきんを持って来て、こぼれた牛乳を拭いてくれたのです。あるときには、「こけてケガをしている子がいる」と言うので、グラウンドに出てみると、ケガをしたはずの子が、一輪車で遊んでいます。「ケガしてない？大丈夫？」と聞くと「こけて血が出たけど、〇〇ちゃんがティッシュできれいにして、ばんそうこう貼って、治してくれました」とにっこり。

優しくしてもらった低学年の子は少し照れながらも「ありがとう」と伝えます。すると上級生も、ふつと笑顔になります。見ている私も、とてもうれしく、あたたかい気持ちになります。

登下校、休み時間、給食、掃除など、あらゆる場面で上級生が下級生の面倒をみてくれ、たくさんの事を教えてくれるのです。これが私の思う香々美小の「きらり」です。きつと、今、お世話をしてくれている上級生たちも、同じようにお世話をしてもらい、上級生からいろいろなことを教わったのだと思います。今、お世話をしてもらっている子たちも、高学年になった時、同じようにしてくれるでしょう。

今日は子どもたちのどんな「きらり」が見られるかな？と、毎日楽しみです。

鏡野町生徒指導推進連絡協議会  
香々美小学校 小森 麻衣



遠足で、1年生の手を引く上級生

# のびのびひろば

なんて書いてるのかなあ？



3歳児

## かいて!とどけて!たのしんで! ~文字って不思議でおもしろい~

1月こども園では、書き初めや郵便ごっこやカルタとりなどの遊びを楽しみました。子ども達はいろいろな体験や遊びを通して文字に親しんでいます。遊びや生活の中で、文字にふれることで知識として知るだけでなく「読みたい」「書きたい」「使いたい」気持ちが芽生え、また、友達とかかわることで刺激を受けて遊びが更に深まり発展していくこともあります。子ども達にとって「文字」は、友達と繋がり合うための大切なものですね!



みんなの前で書き初め!



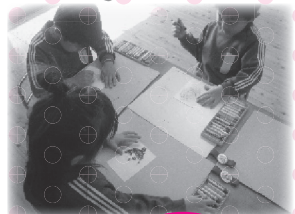
カルタ遊びたのしい~♪



2歳児



年長組さんが郵便屋さんになって手紙を届けます♪



♪〇〇ちゃんにお手紙書こう!



5歳児



4歳児



(かがみの中央こども園)